

グループ討議	事前課題	特別な持ち物
×	×	×

## 「多様な働き方」のポイント完全解説講座

～多様な働き方の企業対応と実務ポイントをマスターする～

### 講座時間

13:00～17:00 (半日間)

### 講師名

石寄・山中総合法律事務所 パートナー弁護士 橋 大樹 氏

### 対象

経営者・経営幹部、管理職、人事・労務担当者

### ねらい

- ・在宅勤務、フレックスタイム制、限定正社員、ジョブ型雇用、裁量労働制、副業・兼業、フリーランスなど、多様な働き方の実務ポイントについて、最新の法令・ガイドラインに基づき解説します。
- ・中小企業にとっては、報道に出てくる情報に惑わされず、各社の実態に即した“地に足が付いた対応”も重要です。何をどこまで対応する必要があるのか、企業がとるべき戦略・対応も学びます。

### 講座カリキュラム

- 多様な働き方、柔軟な働き方とは何か
- 副業・兼業の実務ポイント
  - ・副業・兼業の法律論
  - ・中小企業はどのように対応すべきか
  - ・許可する・しないの判断基準
  - ・社員から副業申請があった場合の対応
  - ・厚労省の副業兼業ガイドライン
- フリーランス保護法と個人事業主
  - ・フリーランスの活用と法的注意点
  - ・労働者性をめぐる問題と正しい運用法
  - ・フリーランス保護法の解説（2024年11月施行）
- 在宅勤務・テレワークの実務ポイント
  - ・在宅勤務規程ひな形とルール作りのヒント
  - ・テレワークと労働時間管理
  - ・自宅での隠れ残業が判明したらどうする
  - ・テレワーク時の自宅→オフィスの移動時間
  - ・メンタル不調を在宅勤務でカバーしようとする社員への対応
- フレックスタイム制の実務ポイント
  - ・導入のために必要な手続きは何か
  - ・フレックス運用についての誤解を解く
  - ・コアタイム以外の時間帯に勤務を指示できるか
  - ・フレックスタイム制のメリット・デメリット
  - ・労使協定に盛り込んでおくよい条項
- 限定正社員の实務ポイント
  - ・限定正社員には2つのタイプがある（登用型とWLB型）
  - ・限定正社員に転換する際に必要な手続き
  - ・労働条件通知書の改正（2024.4.1施行）
  - ・労働契約法18条の無期転換との関係を整理しよう
  - ・同一労働同一賃金との関係を整理しよう
- 多様な働き方に対応した労働基準法の見直し
  - ・最新動向の解説
  - ・厚労省（労働基準関係法制研究会）での議論状況
  - ・今後の企業への影響やスケジュールは
- 柔軟な人事制度と中小企業の現実的対応
  - 裁量労働制
  - 勤務間インターバル
  - 時差出勤
  - ジョブ型雇用
  - 育児・介護への配慮